

○ 2年生カリキュラムの評価基準及び評価方法

1 単元名 Unit 1 A Trip to Singapore (12時間完了)

2 単元の目標

「小豆島の生活」について楽しさを紹介するために、聞き手の立場を考えて情報を整理し、旅行の予定や計画について魅力的に紹介することができる。

3 単元の構成と評価の計画 (○:時数 ・:学習活動)

場	学習内容		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>【拡散的思考】</b>					
TS	①～⑤ ・単元初めのスピーチ “My Plan for Shodoshima no Seikatsu” ・本文の内容理解 ・対象となる言語材料の学習 ・コミュニケーション活動 ・小テスト	A	対象となる言語材料の意味や働きを正確に身に付けている。		観光名所の特徴などについての文章の要点を捉えようとするとともに、「小豆島の生活」について、旅行の予定や計画を交えて伝え合おうとしている。
		B	対象となる言語材料の意味や働きを身に付けている。		観光名所の特徴などについての文章の要点を捉えようとしている。または、「小豆島の生活」について旅行の予定や計画を交えて伝え合おうとしている。
		方法	小テスト		活動の観察 Speaking Checker
AS/R S	⑥⑦ ・発表活動準備 (原稿作成) ・グループ発表 ・モデルスピーチの視聴 ・Speaking Checker 記入 <b>拡M</b>	A		「小豆島の生活」について楽しさを紹介するために、どのような内容や表現がより効果的かを考えるとともに、それを適切に表現している。	「小豆島の生活」について楽しさを紹介するために、どのような内容や表現がより効果的かを考えるとともに、それを適切に表現しようとしている。
		B		「小豆島の生活」について楽しさを紹介するために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現している。	「小豆島の生活」について楽しさを紹介するために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現しようとしている。
		方法		Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
<b>【収束的思考】</b>					
AS	⑧～⑩ ・発表活動準備 (原稿修正) ・Speaking Checker 記入 <b>収M</b> ・発表活動 (スピーチ) “My Plan for Shodoshima no Seikatsu” ・単元テスト ・Grammar for Communication 1	A	旅行の予定や計画に基づいた内容で話すために、対象となる言語材料の効果的な活用の仕方を理解している。	「小豆島の生活」について楽しさを紹介するために、聞き手の立場を考えて情報を整理するとともに、旅行の予定や計画について魅力的に紹介している。	「小豆島の生活」について楽しさを紹介するために、聞き手の立場を考えて情報を整理するとともに、旅行の予定や計画について魅力的に紹介しようとしている。
		B	旅行の予定や計画に基づいた内容で話すために、対象となる言語材料の使い方を理解している。	「小豆島の生活」について楽しさを紹介するために、聞き手の立場を考えて情報を整理し、旅行の予定や計画について紹介している。	「小豆島の生活」について楽しさを紹介するために、聞き手の立場を考えて情報を整理し、旅行の予定や計画について紹介しようとしている。
		方法	発表活動 (録画)	発表活動 (録画) Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
RS	⑫ ・発表活動の評価 ・発表活動の振り返り ・単元の振り返りと今後の目標の設定 <b>拡・収RM</b>	A		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えるとともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとするとともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		B		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとしている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		方法		Speaking Checker	Speaking Checker

※ 「3 単元の構成と評価の計画」にある「場」は以下のものを表す。

「TS」=Training Section 「教科書を活用し、基礎・基本を身に付けるためのトレーニングに取り組ませる。」

「AS」=Advanced Section 「身に付けたコミュニケーション能力を発揮させるため、様々なタイプの Advanced Activity に取り組ませる。」

「RS」=Reflecting Section 「Advanced Section の原稿や発話を Speaking Checker を用いて振り返らせる。」

○ 2年生カリキュラムの評価基準及び評価方法

1 単元名 Unit 2 Food Travels around the World (12時間完了)

2 単元の目標

外国人におすすめしたい日本食を紹介するために、自分の考えを整理し、理由や情報を加えて説得力のある発表をすることができる。

3 単元の構成と評価の計画 (○:時数 ・:学習活動)

場	学習内容		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>【拡散的思考】</b>					
TS	①～⑤ ・単元初めのスピーチ “My Recommended Japanese Food” ・本文の内容理解 ・対象となる言語材料の学習 ・コミュニケーション活動 ・小テスト	A	対象となる言語材料の意味や働きを正確に身に付けている。		料理や食文化、おすすめの日本食についての文章の要点を捉えようとするとともに、料理や食文化、おすすめの日本食について、自分の考えを整理し、理由や情報を加えて説得力をもって話そうとしている。
		B	対象となる言語材料の意味や働きを身に付けている。		料理や食文化、おすすめの日本食についての文章の要点を捉えようとしている。または、料理や食文化、おすすめの日本食について、自分の考えを整理し、理由や情報を加えて説得力をもって話そうとしている。
		方法	小テスト		活動の観察 Speaking Checker
AS/R S	⑥⑦ ・発表活動準備 (原稿作成) ・グループ発表 ・モデルスピーチの視聴 ・Speaking Checker 記入 <b>拡M</b>	A		外国人におすすめしたい日本食を紹介するために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、それを適切に表現している。	外国人におすすめしたい日本食を紹介するために、どのような内容や表現がより効果的かを考えようとするとともに、それを適切に表現しようとしている。
		B		外国人におすすめしたい日本食を紹介するために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現している。	外国人におすすめしたい日本食を紹介するために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現しようとしている。
		方法		Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
<b>【収束的思考】</b>					
AS	⑧～⑪ ・発表活動準備 (原稿修正) ・Speaking Checker 記入 <b>収M</b> ・発表活動 (スピーチ) “My Recommended Japanese Food” ・単元テスト ・Grammar for Communication 2	A	自分の考えを整理し、理由や情報を加えて紹介するために、対象となる言語材料の効果的な活用の仕方を理解している。	外国人におすすめしたい日本食を紹介するために、自分の考えを整理し、理由や情報を加えて説得力ある紹介をしている。	外国人におすすめしたい日本食を紹介するために、自分の考えを整理しようとするとともに、理由や情報を加えて説得力ある紹介をしようとしている。
		B	自分の考えを整理し、理由や情報を加えて紹介するために、対象となる言語材料の使い方を理解している。	外国人におすすめしたい日本食を紹介するために、自分の考えを整理し、理由や情報を加えて紹介している。	外国人におすすめしたい日本食を紹介するために、自分の考えを整理し、理由や情報を加えて紹介しようとしている。
		方法	発表活動 (録画)	発表活動 (録画) Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
RS	⑫ ・発表活動の評価 ・発表活動の振り返り ・単元の振り返りと今後の目標の設定 <b>拡・収RM</b>	A		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考え、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとするとともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		B		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとしている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		方法		Speaking Checker	Speaking Checker

※ 「3 単元の構成と評価の計画」にある「場」は以下のものを表す。

「TS」=Training Section 「教科書を活用し、基礎・基本を身に付けるためのトレーニングに取り組ませる。」

「AS」=Advanced Section 「身に付けたコミュニケーション能力を発揮させるため、様々なタイプの Advanced Activity に取り組ませる。」

「RS」=Reflecting Section 「Advanced Section の原稿や発話を Speaking Checker を用いて振り返らせる。」

○ 2年生カリキュラムの評価基準及び評価方法

1 単元名 Unit 3 My Future Job (10 時間完了)

2 単元の目標

若者の就きたい職業についてレポートを作成するために、相手が就きたい職業について、詳しい内容や理由、思いを聞き出す継続的なやり取りをすることができる。

3 単元の構成と評価の計画 (○: 時数 ・: 学習活動)

場	学習内容		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>【拡散的思考】</b>					
TS	①～⑤ ・ 単元初めのやり取り “What Do You Want to Be in the Future?” ・ 本文の内容理解 ・ 対象となる言語材料の学習 ・ コミュニケーション活動 ・ 小テスト	A	対象となる言語材料の意味や働きを正確に身に付けている。		職業体験や将来の職業などについての文章の要点を捉えようとするとともに、職業体験や将来の職業について、理由を交えて伝え合おうとしている。
		B	対象となる言語材料の意味や働きを身に付けている。		職業体験や将来の職業などについての文章の要点を捉えようとしている。または、職業体験や将来の職業について理由を交えて伝え合おうとしている。
		方法	小テスト		活動の観察 Speaking Checker
AS / RS	⑥ ・ 発展的活動 (やり取り) “What Do You Do in Your Free Time?” ・ 生徒デモの視聴 ・ モデルやり取りの視聴 ・ Speaking Checker 記入 <b>拡M</b>	A		職業についてのレポートを作成するために、どのような内容や表現がより効果的かを考えるとともに、それを適切に表現している。	職業についてのレポートを作成するために、どのような内容や表現がより効果的かを考えようとするとともに、それを適切に表現しようとしている。
		B		職業についてのレポートを作成するために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現している。	職業についてのレポートを作成するために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現しようとしている。
		方法		Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
<b>【収束的思考】</b>					
AS	⑦～⑨ ・ 発表活動準備 ・ Speaking Checker 記入 <b>収M</b> ・ 発表活動 (やり取り) “What Do You Want to Be in the Future?” ・ 単元テスト ・ Grammar for Communication 3	A	相手が就きたい職業について、詳しい内容や理由、思いを話すために、対象となる言語材料の効果的な活用の仕方を理解している。	若者の就きたい職業についてレポートを作成するために、相手が就きたい職業について、継続的に詳しい内容や理由、思いを伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	若者の就きたい職業についてレポートを作成するために、相手が就きたい職業について、継続的に詳しい内容や理由、思いを伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。
		B	相手が就きたい職業について、詳しい内容や理由、思いを話すために、対象となる言語材料の使い方を理解している。	若者の就きたい職業についてレポートを作成するために、相手が就きたい職業について、内容や理由、思いを伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	若者の就きたい職業についてレポートを作成するために、相手が就きたい職業について、内容や理由、思いを伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。
		方法	発表活動 (録画)	発表活動 (録画) Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
RS	⑩ ・ 発表活動の評価 ・ 発表活動の振り返り ・ 単元の振り返りと今後の目標の設定 <b>拡・収RM</b>	A		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えるとともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとするとともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		B		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとしている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		方法		Speaking Checker	Speaking Checker

※ 「3 単元の構成と評価の計画」にある「場」は以下のものを表す。

「TS」=Training Section 「教科書を活用し、基礎・基本を身に付けるためのトレーニングに取り組ませる。」

「AS」=Advanced Section 「身に付けたコミュニケーション能力を発揮させるため、様々なタイプの Advanced Activity に取り組ませる。」

「RS」=Reflecting Section 「Advanced Section の原稿や発話を Speaking Checker を用いて振り返らせる。」

○ 2年生カリキュラムの評価基準及び評価方法

1 単元名 Unit 4 Homestay in the United States (10時間完了)

2 単元の目標

外国の人に紹介したい日本の家庭の決まり事を決めるために、相手の立場や状況、文化の違いを意識し、自分の知っている情報や思いを整理して、継続的にやり取りをすることができる。

3 単元の構成と評価の計画 (○:時数 ・:学習活動)

場	学習内容		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>【拡散的思考】</b>					
TS	①～⑤ ・単元初めのやり取り “House Rules in Japan” ・本文の内容理解 ・対象となる言語材料の学習 ・コミュニケーション活動 ・小テスト	A	対象となる言語材料の意味や働きを正確に身に付けている。		日米の生活習慣や文化のちがいが、日本の家庭の決まり事などについての文章の要点を捉えようとするとともに、日米の生活習慣や文化のちがいが、日本の家庭の決まり事について、相手の立場や状況、文化の違いを意識し、自分の知っている情報や思いを整理して伝え合おうとしている。
		B	対象となる言語材料の意味や働きを身に付けている。		日米の生活習慣や文化のちがいが、日本の家庭の決まり事などについての文章の要点を捉えようとしている。または、日米の生活習慣や文化のちがいが、日本の家庭の決まり事について、相手の立場や状況、文化の違いを意識し、自分の知っている情報や思いを整理して伝え合おうとしている。
		方法	小テスト		活動の観察 Speaking Checker
AS/R/S	⑥ ・発展的活動(やり取り) “My Family Rules” ・生徒デモの視聴 ・モデルやり取りの視聴 ・Speaking Checker 記入 <b>【拡M】</b>	A		外国の人に紹介したい日本の家庭の決まり事を決めるために、どのような内容や表現がより効果的かを考えるとともに、それを適切に表現している。	外国の人に紹介したい日本の家庭の決まり事を決めるために、どのような内容や表現がより効果的かを考えようとするとともに、それを適切に表現しようとしている。
		B		外国の人に紹介したい日本の家庭の決まり事を決めるために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現している。	外国の人に紹介したい日本の家庭の決まり事を決めるために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現しようとしている。
		方法		Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
<b>【収束的思考】</b>					
AS	⑦～⑨ ・発表活動準備 ・Speaking Checker 記入 <b>【収M】</b> ・発表活動(やり取り) “House Rules in Japan” ・単元テスト ・Grammar for Communication 4	A	相手の立場や状況、文化の違いを意識し、自分の知っている情報や思いを話すために、対象となる言語材料の効果的な活用の仕方を理解している。	外国の人に紹介したい日本の家庭の決まり事を決めるために、相手の立場や状況、文化の違いを意識し、自分の知っている情報や思いを整理するとともに、継続的に伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	外国の人に紹介したい日本の家庭の決まり事を決めるために、相手の立場や状況、文化の違いを意識し、自分の知っている情報や思いを整理しようとするとともに、継続的に伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。
		B	相手の立場や状況、文化の違いを意識し、自分の知っている情報や思いを話すために、対象となる言語材料の使い方を理解している。	外国の人に紹介したい日本の家庭の決まり事を決めるために、相手の立場や状況、文化の違いを意識し、自分の知っている情報や思いを伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	外国の人に紹介したい日本の家庭の決まり事を決めるために、相手の立場や状況、文化の違いを意識し、自分の知っている情報や思いを伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。
		方法	発表活動(録画)	発表活動(録画) Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
RS	⑩ ・発表活動の評価 ・発表活動の振り返り ・単元の振り返りと今後の目標の設定 <b>【拡・収RM】</b>	A		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えるとともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとするとともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		B		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとしている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		方法		Speaking Checker	Speaking Checker

※「3 単元の構成と評価の計画」にある「場」は以下のものを表す。

- 「TS」=Training Section 「教科書を活用し、基礎・基本を身に付けるためのトレーニングに取り組ませる。」
- 「AS」=Advanced Section 「身に付けたコミュニケーション能力を発揮させるため、様々なタイプの Advanced Activity に取り組ませる。」
- 「RS」=Reflecting Section 「Advanced Section の原稿や発話を Speaking Checker を用いて振り返らせる。」

○ 2年生カリキュラムの評価基準及び評価方法

1 単元名 Unit 5 Universal Design (11 時間完了)

2 単元の目標

自分が選んだユニバーサルデザイン商品について詳しく知ってもらうために、用法や用途などの具体的な情報を加えて、相手の注意を引くように商品を紹介することができる。

3 単元の構成と評価の計画 (○：時数 ・：学習活動)

場	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>【拡散的思考】</b>				
TS	①～⑤ ・単元初めのスピーチ “Introducing a Universal Design Product” ・本文の内容理解 ・対象となる言語材料の学習 ・コミュニケーション活動 ・小テスト	A 対象となる言語材料の意味や働きを正確に身に付けている。	/	だれもが暮らしやすい社会やユニバーサルデザイン商品についての文章の要点を捉えようとするとともに、だれもが暮らしやすい社会やユニバーサルデザイン商品について、用法や用途などの具体的な情報を加えて、相手の注意を引くように話そうとしている。
		B 対象となる言語材料の意味や働きを身に付けている。		だれもが暮らしやすい社会やユニバーサルデザイン商品についての文章の要点を捉えようとしている。または、だれもが暮らしやすい社会やユニバーサルデザイン商品について、用法や用途などの具体的な情報を加えて、相手の注意を引くように話そうとしている。
		方法 小テスト		活動の観察 Speaking Checker
AS/RS	⑥⑦ ・発表活動準備 (原稿作成) ・グループ発表 ・モデルスピーチの視聴 ・Speaking Checker 記入 <b>拡M</b>	A 自分が選んだユニバーサルデザイン商品について詳しく知ってもらうために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現している。	/	自分が選んだユニバーサルデザイン商品について詳しく知ってもらうために、どのような内容や表現がより効果的かを考えようとするとともに、それを適切に表現しようとしている。
		B 自分が選んだユニバーサルデザイン商品について詳しく知ってもらうために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現している。		自分が選んだユニバーサルデザイン商品について詳しく知ってもらうために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現しようとしている。
		方法 Speaking Checker		活動の観察 Speaking Checker
<b>【収束的思考】</b>				
AS	⑧～⑩ ・発表活動準備 (原稿修正) ・Speaking Checker 記入 <b>収M</b> ・発表活動 (スピーチ) “Introducing a Universal Design Product” ・単元テスト	A 用法や用途などの具体的な情報を加え、ユニバーサルデザイン商品について詳しく紹介するために、対象となる言語材料の効果的な活用の仕方を理解している。	/	自分が選んだユニバーサルデザイン商品について詳しく知ってもらうために、用法や用途などの具体的な情報を加えるとともに、相手の注意を引くように紹介している。
		B 用法や用途などの具体的な情報を加え、ユニバーサルデザイン商品について詳しく紹介するために、対象となる言語材料の使い方を理解している。		自分が選んだユニバーサルデザイン商品について詳しく知ってもらうために、用法や用途などの具体的な情報を加え、紹介しようとしている。
		方法 発表活動 (録画)		発表活動 (録画) Speaking Checker
RS	⑪ ・発表活動の評価 ・発表活動の振り返り ・単元の振り返りと今後の目標の設定 <b>拡・収RM</b>	A 自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えるとともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	/	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとするとともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		B 自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとしている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		方法 Speaking Checker		Speaking Checker

※ 「3 単元の構成と評価の計画」にある「場」は以下のものを表す。

「TS」=Training Section 「教科書を活用し、基礎・基本を身に付けるためのトレーニングに取り組ませる。」

「AS」=Advanced Section 「身に付けたコミュニケーション能力を発揮させるため、様々なタイプの Advanced Activity に取り組ませる。」

「RS」=Reflecting Section 「Advanced Section の原稿や発話を Speaking Checker を用いて振り返らせる。」

○ 2年生カリキュラムの評価基準及び評価方法

1 単元名 Unit 6 Research Your Topic (10時間完了)

2 単元の目標

附中生にとって最も大切なことを決めるために、相手の意見や様々な状況を考慮し、自分の意見を整理して、相手の意見に関わったやり取りを続けることができる。

3 単元の構成と評価の計画 (○:時数 ・:学習活動)

場	学習内容		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>【拡散的思考】</b>					
TS	①～⑤ ・単元初めのやり取り “What Is the Most Important Thing for Fuchu Students?” ・本文の内容理解 ・対象となる言語材料の学習 ・コミュニケーション活動 ・小テスト	A	対象となる言語材料の意味や働きを正確に身に付けている。		調査の結果や意見、附中生にとって最も大切なことなどについての文章の要点を捉えようとするとともに、調査の結果や意見、附中生にとって最も大切なことについて、相手の意見や様々な状況を考慮し、自分の意見を整理して伝え合おうとしている。
		B	対象となる言語材料の意味や働きを身に付けている。		調査の結果や意見、附中生にとって最も大切なことなどについての文章の要点を捉えようとしている。または、調査の結果や意見、附中生にとって最も大切なことについて、相手の意見や様々な状況を考慮し、自分の意見を整理して伝え合おうとしている。
		方法	小テスト		活動の観察 Speaking Checker
AS/R/S	⑥ ・発展的活動(やり取り) “Which Is More Important for Us, Studying Hard or Playing Hard?” ・生徒デモの視聴 ・モデルやり取りの視聴 ・Speaking Checker 記入 <b>拡M</b>	A		附中生にとって最も大切なことを決めるために、どのような内容や表現がより効果的かを考えるとともに、それを適切に表現している。	附中生にとって最も大切なことを決めるために、どのような内容や表現がより効果的かを考えようとするとともに、それを適切に表現しようとしている。
		B		附中生にとって最も大切なことを決めるために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現している。	附中生にとって最も大切なことを決めるために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現しようとしている。
		方法		Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
<b>【収束的思考】</b>					
AS	⑦～⑨ ・発表活動準備 ・Speaking Checker 記入 <b>収M</b> ・発表活動(やり取り) “What Is the Most Important Thing for Fuchu Students?” ・単元テスト ・Grammar for Communication 5	A	相手の意見や様々な状況を考慮し、自分の意見を話すために、対象となる言語材料の効果的な活用の仕方を理解している。	附中生にとって最も大切なことを決めるために、相手の意見や様々な状況を考慮し、自分の意見を整理するとともに、継続的に相手の意見に関わった意見を伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	附中生にとって最も大切なことを決めるために、相手の意見や様々な状況を考慮し、自分の意見を整理しようとするとともに、継続的に相手の意見に関わった意見を伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。
		B	相手の意見や様々な状況を考慮し、自分の意見を話すために、対象となる言語材料の使い方を理解している。	附中生にとって最も大切なことを決めるために、相手の意見や様々な状況を考慮して自分の意見を整理し、意見を伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	附中生にとって最も大切なことを決めるために、相手の意見や様々な状況を考慮して自分の意見を整理し、意見を伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。
		方法	発表活動(録画)	発表活動(録画) Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
RS	⑩ ・発表活動の評価 ・発表活動の振り返り ・単元の振り返りと今後の目標の設定 <b>拡・収RM</b>	A		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えるとともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとするとともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		B		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとしている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		方法		Speaking Checker	Speaking Checker

※「3 単元の構成と評価の計画」にある「場」は以下のものを表す。

- 「TS」=Training Section 「教科書を活用し、基礎・基本を身に付けるためのトレーニングに取り組ませる。」
- 「AS」=Advanced Section 「身に付けたコミュニケーション能力を発揮させるため、様々なタイプの Advanced Activity に取り組ませる。」
- 「RS」=Reflecting Section 「Advanced Section の原稿や発話を Speaking Checker を用いて振り返らせる。」

○ 2年生カリキュラムの評価基準及び評価方法

1 単元名 Unit 7 World Heritage Sites (10 時間完了)

2 単元の目標

次世代に残していきたい日本文化を決めるために、事実や情報を整理し、相手の意見と比較しながらやり取りを続けることができる。

3 単元の構成と評価の計画 (○: 時数 ・: 学習活動)

場	学習内容		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>【拡散的思考】</b>					
TS	①～⑤ ・単元初めのやり取り “What Japanese Culture Do You Want to Pass Down to the Next Generation?” ・本文の内容理解 ・対象となる言語材料の学習 ・コミュニケーション活動 ・小テスト	A	対象となる言語材料の意味や働きを正確に身に付けている。		世界遺産や日本文化などについての文章の要点を捉えようとするとともに、世界遺産や日本文化について、事実や情報を整理し、相手の意見と比較しながらして伝え合おうとしている。
		B	対象となる言語材料の意味や働きを身に付けている。		世界遺産や日本文化などについての文章の要点を捉えようとしている。または、世界遺産や日本文化について、事実や情報を整理し、相手の意見と比較しながらして伝え合おうとしている。
		方法	小テスト		活動の観察 Speaking Checker
AS / RS	⑥ ・発展的活動 (やり取り) “What Fuchu Event Do You Want to Pass Down to Our Kohai?” ・生徒デモの視聴 ・モデルやり取りの視聴 ・Speaking Checker 記入 <b>拡M</b>	A		次世代に残していきたい日本文化を決めるために、どのような内容や表現がより効果的かを考えるとともに、それを適切に表現している。	次世代に残していきたい日本文化を決めるために、どのような内容や表現がより効果的かを考えようとするとともに、それを適切に表現しようとしている。
		B		次世代に残していきたい日本文化を決めるために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現している。	次世代に残していきたい日本文化を決めるために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現しようとしている。
		方法		Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
<b>【収束的思考】</b>					
AS	⑦～⑨ ・発表活動準備 ・Speaking Checker 記入 <b>収M</b> ・発表活動 (やり取り) “What Japanese Culture Do You Want to Pass Down to the Next Generation?” ・単元テスト ・Grammar for Communication 6	A	相手の意見や様々な状況を考慮し、自分の意見を話すために、対象となる言語材料の効果的な活用の仕方を理解している。	次世代に残していきたい日本文化を決めるために、事実や情報を整理し、相手の意見と比較するとともに、継続的に相手の意見に関わった意見を伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	次世代に残していきたい日本文化を決めるために、事実や情報を整理し、相手の意見と比較しようとするとともに、継続的に相手の意見に関わった意見を伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。
		B	相手の意見や様々な状況を考慮し、自分の意見を話すために、対象となる言語材料の使い方を理解している。	次世代に残していきたい日本文化を決めるために、事実や情報を整理し、相手の意見に関わった意見を伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	次世代に残していきたい日本文化を決めるために、事実や情報を整理し、相手の意見に関わった意見を伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。
		方法	発表活動 (録画)	発表活動 (録画) Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
RS	⑩ ・発表活動の評価 ・発表活動の振り返り ・単元の振り返りと今後の目標の設定 <b>拡・収RM</b>	A		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えるとともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとするとともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		B		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとしている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		方法		Speaking Checker	Speaking Checker

※ 「3 単元の構成と評価の計画」にある「場」は以下のものを表す。

「TS」=Training Section 「教科書を活用し、基礎・基本を身に付けるためのトレーニングに取り組ませる。」

「AS」=Advanced Section 「身に付けたコミュニケーション能力を発揮させるため、様々なタイプの Advanced Activity に取り組ませる。」

「RS」=Reflecting Section 「Advanced Section の原稿や発話を Speaking Checker を用いて振り返らせる。」